

市政記者各位

令和6年10月10日

福岡アジア美術館アーティスト・イン・レジデンス事業 第2期開始！！

令和6年度の「福岡アジア美術館アーティスト・イン・レジデンス事業」第2期（10月～12月）がスタートしました！ メキシコと長野からやって来た2組3名のアーティストと、第1期（7月～9月）から参加している福岡アーティスト2名、計5名が滞在しています。

アーティストたちは、Artist Cafe Fukuoka（中央区城内）を拠点にリサーチや作品制作を行い、その成果を12月の展覧会で発表します。また10月14日（月・祝）には「キックオフ・トーク」を開催、4組のアーティストが自ら福岡でのプランについて語ります。

つきましては、当事業について取材、広報のご協力をお願いいたします。

10月～12月滞在

① ブルーノ・ルイズ

1990年メキシコ生まれ、メキシコシティ在住。公共性を高めるツールとしての出版に着目し、福岡ではガリ版印刷を用いたプロジェクトを展開する。



② 杉原信幸（すぎはらのぶゆき） 中村綾花（なかむらあやか）

長野県を中心に活動するアーティストユニット。志賀海神社や海の中道でのリサーチを通して、海の民の記憶を想起させるような作品を制作する。



福岡作家 7月～12月滞在



③ 浦川大志（うらかわたいし）

1994年生まれ、福岡在住。7月から滞在し、「博多べい」をテーマにした作品を構想中。



④ 上村卓大（かみむらたかひろ）

1980年生まれ、福岡在住。7月から滞在し、制作場所やアーティストの意味について再考を続けている。

※浦川氏、上村氏は第1期（7月～9月）から継続して滞在。

第2期レジデンス・アーティストによるキックオフ・トークの開催

- 日 時 10月14日（月・祝）14：00～16：00
入場無料、事前申込不要、日英逐次通訳（海外アーティストのみ）
- 会 場 Artist Cafe Fukuokaコミュニティスペース（福岡市中央区城内2-5）